



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和5年度(2023) 3月号
<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiya/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

持続可能な社会の創り手を育成する

校長 宮崎 宏明



今年の啓蟄は3月5日、暦の上では寒さが緩んで春の陽気となり、虫たちが土の中からはい出てくる季節となります。しかし今年は多少寒の戻りはあるものの、2月から春を思わせるような日が続きました。暖かいのはいいのですが、今年の夏はどうなるのかと今から心配しています。それはさておき、頑張ってきた3年生には最高の卒業式を用意したいと思っています。

○ アフターコロナを元気よく駆け抜けた西宮中生と皆様への感謝

思えば今年の今頃、政府はコロナ禍への対応を大きく見直し、学校もそれにならってアフターコロナへの取組を進めてまいりました。当初は多くの子どもたちがマスクを外すことをためらっていましたが、今ではほとんどの子どもたちが外すことに慣れてきたように思います。様々な行事では制限を緩和し、特に西宮祭音楽会は久しぶりの1日開催となり、どの学級も課題曲と自由曲を歌うことができました。インフルエンザの流行に悩まされることもありましたが、どの学年も思いっきり駆け抜けることができたと思っています。

こうしたことが実現できましたのも、皆様のご理解とご協力があったからこそと心より感謝申し上げます。

○ 「終わりの始まり」を止める

このように学校だけを見ると、子どもたちは様々な困難に直面しながらも、概ね元気に成長していると思われていますが、その子どもたちを取り巻く国内外の状況を見ると、「このまま行ったら大変なことになってしまう!」「人類は22世紀を迎えることができないのではないか?」と感ずることが多い一年でした。特に今年の夏は、日本各地で耐え難いほどの猛暑が長く続きました。世界中どこでも異常気象や自然災害が常態化し、「取り返しのつかない何かが起こっている」と多くの人が感じたことでしょう。

一方、戦時下のパレスチナやウクライナ、地震に見舞われたトルコ・シリアや能登半島などでは、一瞬にして平和な日常が崩壊し、慣れ親しんだ住まいが瓦礫となり、大切な人の命が突然理不尽に奪われてしまうという現実を目の当たりにしてきました。さらに恐ろしいのは、戦争当事者であるロシアやイスラエル、台湾などに強硬な姿勢を見せる中国などは、いずれも核兵器保有国であるということです。

温暖化でも戦争でも、危機のほとんどは人が起こしています。水と平和は無料(ただ)だと言われているとわれ、当たり前のように平穏で豊かな生活を享受してきた我々ですが、これからは当事者として考え一層積極的に行動していかないと、この「終わりの始まり」を止めることができないと感ずています。本校では今後もSDGsを意識して、持続可能な社会の創り手となる生徒の育成に力を注いでまいります。

○ 教員の異動公表と離任式について

教員の異動公表につきましては、昨年度から年度内で公表されるようになりました。今年度も21日頃に都のHP等で公表されると聞いております。これを受けて本校では、3月25日(月)の修了式後に離任式を実施します。また、一旦下校後、在校生や卒業生を対象としたお別れ交流会を、体育館にて15時から16時頃まで開催する予定です。もし可能でしたら、今年度や前年度以前の卒業生にもお伝えいただけるとありがたいです。したがって、新年度に離任式は行いません。

○ 来年度の給食回数と第2学期の開始について

本校では定期考査期間中なども給食を提供しているため、給食回数は標準的な学校より多くなっています。来年度は無償化実施の有無にかかわらず、基本的に今年度と同様に実施してまいります。

例年8月末の3日間を授業日としていましたが、今年度は猛暑のため冷房の効きが悪く、気分を悪くした子どもがいたことなどを鑑み、来年度は8月29日(木)開始とします。また、8月中の2日間は給食ありの午前授業とさせていただきます。

○ 学校改築について

このことにつきましては、様々な機会にお話が出ているのですすでにご存じの方も多いと思いますが、当初の計画が大きく遅れています。区からは、来年度は地域の様々な施設の更新も含めた意見を集め、7年度と8年度に様々な意見を取り入れながら設計を進めていくという方針が示されました。

よって、在校生につきましてはほとんど工事の影響はないものと思われそうですが、子どもたちは生徒会を中心に改築への意見を集め、代表生徒が26日の学校運営協議会で発表しようと張り切っています。

移動教室（2年生）

2月7日（水）から2泊3日の日程で菅平へ移動教室に行ってきました。スローガン『ハ』から『ニ』へ 見極め かわして その先へ』のもと、自分たちで判断して行動することを大きな目標としました。期間中は、3日間天候は恵まれ、最高のスキー日和となりました。スキーを初めておこなう生徒は、はじめうまく行かない不安や恐怖を持つ子が多くいましたが、最終日には別人のように上達し、誰もが大きな達成感に満ちた表情をしていました。

スキー実習の他にも、インストラクターの方々とかまくら作りを行い雪に慣れ親しみました。宿泊先のソノタックでは美味しい食事と学年レク、友達との語りなど多くの楽しい時間を過ごしました。

実行委員が準備から当日まで、ルールを決め、当日の内容を全員が理解するための授業づくりなど幅広く活躍してくれました。そのおかげもあり、先生たちは細かなことを言うことなく、自分たちの力をさらに高めることができた3日間でした。まさに2年生の集大成としてすばらしく立派な姿を見せてくれました。（2学年主任）





五感



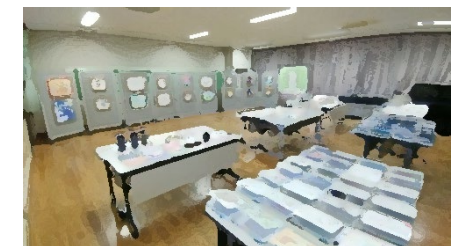
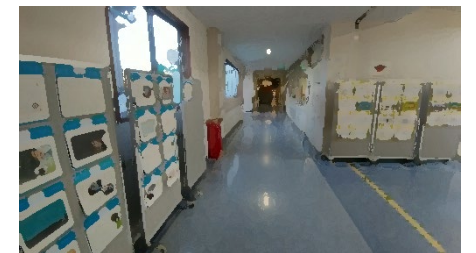
～君たちはどう巡るか～

東京を、見て・聴いて・嗅いで・
味わって・肌で感じて学んだ1
日でした。楽しさと共に時に困
ったこともあったでしょう。そ
んな時どうするか？皆さんは
協力して優しい気持ちで解決
していきました。頼もしく、誇
らしく思います。
（1学年主任）



西宮祭展示会

3月1日、2日に西宮祭展示会が行われました。各教科の今年一年の学びの成果が校舎中に美しく飾られました。生徒たちは真剣に鑑賞して、「こんな発想があったのか!」と刺激を受けたり、上級生の作品からは来年・再来年のイメージを高めたりしていました。展示会実行委員や各係の働きぶりも大変素晴らしかったです。来年度も西宮中生全員で素敵な展示会にしましょう!(美術科)



《3月の主な行事予定》

- 1日(金) 中央議会 西宮祭展示会 始
- 2日(土) 土曜授業日 落語鑑賞教室(1年)
- 4日(月) 西宮祭展示会 終 生徒会幹事 避難訓練
- 8日(金) 特別時間割(3年) 始
普通救命講習会(3年)
- 9日(土) 都立後期二次検査
- 11日(月) 全校幹事 安全指導 地域貢献活動(3年)
- 15日(金) 卒業式予行 3年生を送る会(5⑥カット)

- 18日(月) 卒業式準備 (3年5⑥カット)
- 19日(火) 卒業式
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 保護者会(1年・2年)
小笠原自然体験交流 始
- 22日(金) 大掃除
- 25日(月) 修了式 離任式
- 26日(火) 春季休業日 始
- 27日(水) 小笠原自然体験交流 終

＜編集後記＞

令和5年度も残すところ僅かになりました。3年生は残り僅かの登校日を残し、いよいよ中学校の卒業が目前に迫っています。1、2年生も4月からの進級を控え、年度最後のまとめを行っています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となり、新たなガイドラインやマニュアルが設けられた今年度を振り返ると、年度当初は、マスクの着用が義務付けられた生活からの脱却に対する戸惑いも見られました。しかし、少しずつ「アフターコロナ」を意識し、生徒たちが、様々な学習、体験、学校生活の中で、日々、たくましく仲間とともに成長していく姿が見られました。西宮だよりでは、生徒の成長や活躍、学校としての取り組みを紹介させていただきました。次年度以降も、本校の教育活動を通じた生徒の成長を発信していきたいと思っています。どうぞ、宜しくお願いいたします。

(西宮だより担当)